

(参考例) 保育者育成指標 (幼稚園教諭・保育士・保育教諭)

資質・能力		キャリアステージ	第0ステージ
			養成期
			教育・保育に対する知見を深め、求められる資質・能力の基盤を形成する
保育者としての素養	社会人に求められる基礎的な能力	<b>A</b> 倫理観・法令遵守	高い倫理観を有するとともに、法令を遵守することの重要性を理解している。
		<b>B</b> コミュニケーション能力	状況に応じて、相手が理解できるように自分の考えを伝えたり、相手の話を丁寧に聴いたりすることができる。
	保育者としての使命と責任	<b>C</b> 使命感と熱意	保育者としての使命を理解するとともに、自ら学び続ける意欲及び研究能力を有している。
教育・保育の実践	指導と評価の力	<b>D</b> 保育計画等の構想力	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領を理解するとともに、育みたい資質能力を踏まえた環境の構成や活動の展開のイメージをもつことができる。
		<b>E</b> 環境の構成と乳幼児への関わり	環境の構成や乳幼児への関わりに必要な基礎的な指導のスキルを獲得している。
		<b>F</b> 乳幼児理解に基づいた評価と改善	乳幼児の発達をとらえる評価の意義と方法について理解している。
	乳幼児理解と集団づくりの力	<b>G</b> 乳幼児理解	乳幼児理解の意義と重要性を理解している。
		<b>H</b> 個と集団の援助	・個や集団を保育するスキルを理解している。 ・幼児教育と小学校教育のつながりを理解している。
	特別な配慮を必要とする乳幼児への対応	<b>I</b> 特別支援教育の実践	特別支援教育に関する理念や保育・支援方法等の工夫について理解している。
	ICTや情報・教育データの利活用	<b>J</b> ICTや情報・教育データを活用した実践	ICT及び情報・保育データの利活用に関する目的的理解や、知識や技術を獲得している。
	組織としての園を支えるマネジメント力	<b>K</b> 組織としての園の理解と園経営	組織としての園や園務分掌、担任の役割と職務内容を理解している。
		<b>L</b> 人材育成	組織的な人材育成の重要性について理解している。
		<b>M</b> 業務遂行・時間管理能力	計画的な業務遂行と時間管理の意義と重要性を理解している。
		<b>N</b> 危機管理	危機管理の重要性及び危機を察知した際の行動を理解している。
		<b>O</b> 家庭、地域との連携子育て支援	・園行事等を通じて、家庭や地域との連携の重要性を理解している。 ・子育て支援の在り方について理解している。

第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ
基礎形成期	発展期	充実深化・円熟期
採用から早い時期に、保育者としての幅広い視野と能力の伸長を図る	基礎形成期の多様な経験をもとに、中堅として各種の分掌主任等を経験することなどで一層の能力伸長を図る	・発展期での経験をもとに、管理分野や指導等の専門分野の複線化も視野に入れ、より一層の能力伸長を図る ・園経営ビジョンを理解し、職責、経験に応じたリーダーシップの向上を図る
高い倫理観に基づき、法令を遵守した教育・保育の展開ができる。	高い倫理観に基づき、法令を遵守した教育・保育の展開ができる。	高い倫理観をもって、法令を遵守した教育・保育を展開することについて、同僚に指導助言ができる。
関係者との連絡調整を適切に行い、職務を円滑に遂行できる。	関係者との連絡調整を適切に行い、職務を円滑に遂行できる。	組織の目的や自分の意思が相手に充分伝わるよう説明することができるとともに、関係者の協力が得られるよう相手の意見も踏まえながら調整ができる。
保育者としての自覚をもち、組織の一員としての行動ができるとともに、専門性を高めるために自ら学び続けることができる。	保育者としての自覚を深めるとともに、自ら学び続け、分掌主任等として同僚に助言ができる。	保育者としての自覚を深めるとともに、自ら学び続け、「園全体の組織的な取組」の中核を担う保育者として、同僚に指導助言ができる。
幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき、育みたい資質能力を踏まえた環境の構成や活動の展開を図る計画の立案ができる。	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領及び自園の方針に基づき、育みたい資質能力を踏まえた環境の構成や活動の展開を図る計画の立案ができる。	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領及び自園の方針に基づき、育みたい資質能力を踏まえた環境の構成や活動の展開を図る計画を立案し、同僚に指導助言ができる。
基礎的な保育のスキルを生かした環境の構成や乳幼児への関わりができる。	乳幼児の実態に応じた環境の構成や乳幼児への関わりができる。	乳幼児の実態に応じた環境の構成や乳幼児への関わりについて、同僚に指導助言ができる。
乳幼児一人一人の発達をとらえるとともに適切な保育の改善ができる。	ねらいを踏まえて適切な乳幼児理解と評価に基づく保育の改善ができる。	適切な乳幼児理解と評価やそれに基づく必要な保育の改善について、同僚に指導助言ができる。
乳幼児を取り巻く環境や多様な個性を理解し、乳幼児一人一人に向き合うことができる。	園の乳幼児を取り巻く環境や多様な個性を理解し、乳幼児一人一人に向き合うことができる。	園の幼児を取り巻く環境や多様な個性の理解について、必要な配慮などを園全体に発信するするとともに、同僚に指導助言ができる。
・保護者や園内組織と連携して、一人一人に応じた保育ができる。 ・小学校との連携に向けた交流会等を計画、実施できる。	・関係機関等と連携した保育ができる。 ・小学校への円滑な接続に向けたカリキュラム作りができる。	・関係機関等と連携した園全体の指導やカリキュラム作りについて、同僚に指導助言ができる。 ・小学校への円滑な接続に向けた組織作りや計画等の見直しができる。
特別な配慮や支援が必要な乳幼児の教育的ニーズを把握できるとともに、保護者や園内組織と連携し、一人一人に応じた適切な保育・支援ができる。	特別な配慮や支援が必要な乳幼児の教育的ニーズを把握できるとともに、関係機関と連携し、一人一人に応じた適切な保育・支援ができる。	特別な配慮や支援が必要な乳幼児の教育的ニーズを把握できるとともに、具体的な保育・支援方法や関係機関との連携について、同僚に指導助言ができる。
ICTや情報・保育データを、乳幼児の直接的な体験を生かすための保育や、保育の可視化、家庭への情報発信等に活用ができる。	ICTや情報・保育データを、乳幼児の直接的な体験を生かすための保育や、保育の可視化、家庭への情報発信等に工夫しながら活用できる。	ICTや情報・保育データを、保育や保育の可視化、家庭への情報発信等、効果的に活用するとともに、活用について、同僚に指導助言ができる。
園の目標を理解した上で学級経営の方針を策定し、実践することができる。	分掌主任等として、「園全体の組織的な取組」を意識した園経営を積極的に推進ができる。	「園全体の組織的な取組」を意識して、PDC Aサイクルの進行管理を行うとともに、保育の改善や充実に向け、同僚への助言ができる。
新規採用保育者等のメンターとして、園内の組織的な人材育成に参画できる	分掌主任、学年主任等として、課題を共有できる環境作りや、OJT等を通じた人材育成ができる。	「園全体の組織的な取組」の中核を担う教員として、課題を共有できる環境作りや、OJT等を通じた人材育成について、同僚に指導助言ができる。
担当業務を責任と時間管理の意識をもって正確かつ迅速に遂行ができる。	担当する分掌業務等を責任をもって適切に進行管理できるとともに、質の向上及び時間管理の観点で積極的に業務の改善ができる。	園全体の業務を責任をもって適切に進行管理できるとともに、質の向上及び時間管理の観点での業務の改善について、同僚に指導助言ができる。
安全に配慮した保育室の環境等の整備と、危機を察知した際の迅速な対応ができる。	危機を予測した未然防止の取組と、危機を察知した際の迅速な対応ができる。	危機を予測した未然防止の取組と、危機の早期発見、早期対応、再発防止について、同僚に指導助言ができる。
・家庭、地域と積極的に関わり、連携・協働した対応ができる。 ・実態に応じた子育て支援ができる。	・家庭、地域、関係機関と積極的に関わり、連携・協働した対応ができる。 ・自園の実態にふさわしい子育て支援の企画ができる。	・家庭、地域、関係機関との連携・協働のネットワークの確立ができる。 ・子育て支援のための環境作りや環境改善ができる。